

農事組合法人 AKファーム（岡山県津山市）

組織の概要

- 共同で農業の経営を行うことによる組合員の経済的地位の向上を図ることを目的として、H22年に設立
- 津山市勝北地域安井地区の9名より構成された集落営農法人
- 勝北地域では人・農地プランでの地域の中心となる経営体
- R3年度の経営規模は15haで、安井地域の約1割の農地を担っている

生産概要

- 【作付面積】水稲：7.6ha、小麦：5.7ha、大豆：5.6ha（R3年）
- 2年3作ブロックローテーション（水稲→小麦→大豆→水稲・・・）
- 省力化機械やスマート農業機械（ドローン）をフル活用して農地集積及び作業面積の拡大に取り組んでいる



取組のポイント

<需要に応じた生産を徹底>

- パン用として実需の引き合いの強い「せときらら」を生産
- 実需者との意見交換を定期的実施し、作付けする品種を決定するなど、実需者ニーズに合わせた生産を徹底



<団地化の推進>

- 地区代表の農業組合法人として近接個人農業者と団地化推進に向けた話し合いを実施
- 多面的機能支払交付金事業役員に、地区内から指摘される耕作放棄地圃場、道路の修繕、排水溝の不良の改修等の解決に向けて団地化を提案

<適期作業による作付面積の増加>

- コンバイン収穫や乾燥調製作業を外部委託していたが、法人で導入することで適期作業が可能となり、作付面積の増加や集積化に対応

取組成果

<小麦の作付面積・団地化率>

津山市勝北地域での話し合いにより団地化を行い、作付面積を拡大

作付面積：5.7ha（R3） → **6.7ha（R4）**
→ 目標6.8ha（R7）
団地化率：19.2%（R3） → **57.1%（R4）**
→ 目標43.6%（R7）

<小麦の単収>

団地化により適期播種、排水対策等を徹底し、単収を向上
単収：508kg（R3） → **694kg（R4）**
（津山市単収）：277kg（R3） → **358kg（R4）**

